安全性データシート

改訂: 2024年10月18日 **前作成日:** – **SDS番号:** 486A

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC NVE(E) Primer (A剤)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: ARC CHP用樹脂で、混合されると湿潤コンクリートや乾燥コンクリートのプライマーを形成します。ブラシ、ローラー、スプレー、スキージで塗布することができます。

使用上の制限: 情報なし

使用が奨励されない理由: 適応せず

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:
A.W. CHESTERTON COMPANY
860 Salem Street
Groveland, MA 01834-1507, USA
電話: +1 978-469-6446
(月-金: 8:30-5:30 PM東部標準時)
SDSの要求: www.chesterton.com
Eメール (SDSに関する質問) : ProductSDSs@chesterton.com
Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休
Infotrac(追跡)電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

引火性液体、区分 3, H226
皮膚の炎症、区分 2, H315
重篤な目の損傷、区分 1, H318
特定標的臓器毒性(単回ばく露)、区分 3, H335
生殖毒性、区分 2, H361d
特定標的臓器毒性(反復ばく露)、区分 1, H372 (聴力、吸入)
水生環境有害性, 急性、区分 2, H401
水生環境有害性, 慢性、区分 3, H412

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文:セクション2.2および16を参照。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示：

信号語： 危険

危険有害性情報：

H226	引火性の液体および蒸気。
H315	皮膚刺激。
H318	重篤な眼の損傷。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H361d	胎児への悪影響のおそれの疑い。
H372	吸引による長期にわたる暴露、度重なる暴露は、聴力に損傷を与えます。
H401	水生生物に毒性。
H412	長期的影響により水生生物に有害。

使用上の注意：

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P243	静電気放電に対する措置を講ずること。
P260	蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264	取扱後は皮膚よく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。
P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P303/361/353	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305/351/338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	ただちに医師に連絡すること。
P308/313	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
P403/235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤とも別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分[1]	重量%	CAS番号	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	GHS分類
スチレン	25–35	100–42–5	3–4	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 皮膚刺激性 2, H315 眼刺激性 2, H319 急性毒性 4, H332 STOT 単回暴露 3, H335 生殖毒性 2, H361d STOT 反復暴露 1, H372 (聴力、吸入) 急性水生毒性 2, H401* 水生慢性 3, H412
メタクリル酸	1–<5	79–41–4	2–1025	引火性液体 4, H227 急性毒性 4, H302 急性毒性 3 H311 急性毒性 4 H332 皮膚腐食性 1A, H314 眼に対する重篤な損傷性 1, H318 STOT 単回暴露 3, H335 急性水生毒性 3, H402
1，4ーナフトキノン	<0.024	130–15–4	4–372	急性毒性 3, H301 急性毒性 1 H330 皮膚腐食性 1C, H314 眼刺激性 2A, H319 皮膚感作性 1, H317 STOT 単回暴露 3, H335 急性水生毒性 1, H400 (M = 10) 水生慢性 1, H410 (M = 1)

H（危険）ステートメントの全文：セクション16を参照。

[1]分類基準： 労働安全衛生法， 毒物および劇物取締法, GHS

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入： 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

皮膚への付着： 汚染した衣服は脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹸水で皮膚を洗浄してください。皮膚に付着し、除去する際に刺激を与えることがあります。医師の診断を受けてください。

目に入った場合： 大量の水で目を最低20分間洗い流してください。直ちに医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合： 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

応急手当を行う人の保護: 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。蒸気を吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

重篤な眼の損傷。皮膚刺激。高濃縮蒸気は目や呼吸器系の炎症、時にはめまい、吐き気その他の中枢神経の異常を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

胃を空にする場合は、肺吸引の危険と毒性とを比較する必要があります。熱傷がある場合は、消毒後、やけどとして治療してください。解毒剤は特になし。症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水霧

不適切消火剤: 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、NOx、その他の有毒煙。

その他の危険性: 水で発泡することがあります。容器を熱に晒すと重合することがあり、重合が起こると閉塞容器内の圧力が増大し、容器が破裂することがあります。蒸気 が低い場所や囲われた場所に蓄積したり、あるいは発火源まで相当な距離を移動 しフラッシュバックを引き起こすことがある。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

皮膚に付着しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

その場を退去してください。充分換気してください。流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。石鹸湯で残留物を除去してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

容器を接地しアースを取ること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。空気より重い蒸気は低部に溜まります。蒸気/スプレーを吸入しないこと。皮膚に付着しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

24° C 以下で保管してください。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。蒸気が重合して通気孔や救済装置を詰まらせることがあります。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m³	ppm	mg/m³
スチレン	20	85 (皮膚)	10 STEL: 20	N/A
メタクリル酸 *	2	7	20	N/A
1，4ーナフトキノン	N/A	N/A	N/A	N/A

* 米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH) REL (TWA) : 20 ppm, 72 mg/m³ (皮膚)

生物学的限界値

スチレン:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	準拠	注
マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の和	尿	週の後半の作業終了時	430 mg/l	日本産業衛生学会	-
スチレン	血液	週の後半の作業終了時	0.2 mg/l	日本産業衛生学会	-
マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の和	尿	作業終了時	400 mg/g クレアチニン	ACGIH	非特異的
スチレン	尿	作業終了時	0.04 mg/l	ACGIH	-

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

通気のよい場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、防爆性の換気装置を使用してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。通気が不十分なところでは、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。(例：欧州規格フィルタータイプ A). スプレー中は、適切な呼吸用具を使用してください。

手袋： 耐薬品性手袋(例：Viton*、ネオプレン、ニトリル)*The Chemours Company FC, LLC の商標です

スチレン:

皮膚付着タイプ	手袋の材質	手袋の層厚	破過時間 *
全面	Viton	0.70 mm	> 480 分
しぶき	ニトリルゴム	0.40 mm	> 30 分

*EN374基準により決定。

目 / 顔の保護： 安全ゴーグル。

その他： 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗ってください。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

セクション 9： 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	シロップ	**pH**	適応せず
色	透明から茶色がかった色	**動粘**	180-450 cSt @ 25° C (計算値)
臭気	芳香	**水溶性**	不溶性
においの閾値	未定	**分配係数：n-オクタノール/水 (Log Pow)**	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	145°C	**20・Cでの蒸気圧**	~ 5.25 mm Hg
融点・凝固点	未定	**相対密度**	~ 1.1 kg/l
揮発率%(容量比)	16%	**蒸気密度(空気=1)**	> 1
引火性	適応せず	**蒸発率(エーテル=1)**	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	LEL(爆発下限) 0.9%; UEL(爆発上限) 6.8%	**重量比芳香物含有率 (%)**	12.8%
引火点	31°C	**爆発性**	未定
方法	PM閉カップ	**酸化性**	未定
自己発火温度	490° C	**粒子特性**	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

動的粘度: 200-500 cps @ 25° C

セクション 10： 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

高温で有害な重合を起こす可能性があります。(> 77° C, 170° F). 日光と紫外線によって重合が起こる可能性があります。蒸気が重合して通気孔や救済装置を詰まらせることがあります。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。直射日光や紫外線源を避けてください。

10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

セクション 11： 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。皮膚、目、肺に既往疾患のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

急性毒性 -

経口: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 = 10,627 mg/kg

物質	テスト	結果
スチレン	LD50、ラット	2,650 mg/kg
メタクリル酸	LD50、ラット	1,320 mg/kg

経皮: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 = 16,314 mg/kg

物質	テスト	結果
スチレン	LD50、ラット	> 2,000 mg/kg
メタクリル酸	LD50、うさぎ	500 - 1,000 mg/kg

吸入: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。高濃縮蒸気は目や呼吸器系の炎症、時にはめまい、吐き気その他の中枢神経の異常を起こすことがあります。

ATE-混合物 = 32.89 mg/l (蒸気)

物質	テスト	結果
スチレン	LC50、ラット、4時間	11.8 mg/l (蒸気)
メタクリル酸	LC50、ラット、4時間 (OECD 403)	7.1 mg/l (エアゾール/蒸気)
メタクリル酸	cATpE	1.5 mg/l (エアゾール)

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激。長時間あるいは繰返し皮膚に付着すると皮膚炎を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
スチレン	皮膚の炎症、うさぎ	かすかな刺激
メタクリル酸	皮膚の炎症、うさぎ (OECD 404)	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性: 目に深刻な損傷を与える危険があります。

物質	テスト	結果
スチレン	目の炎症、うさぎ	かすかな刺激
メタクリル酸	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	腐食性

呼吸器または皮膚の感作:

物質	テスト	結果
スチレン	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし
メタクリル酸	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性: スチレン、メタクリル酸: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性: 国際がん研究機関(IARC)はスチレンに発ガン性の疑いがあるとしています。

生殖毒性: 胎児への悪影響のおそれの疑い。(スチレン).

STOT - 単回暴露: 呼吸器への刺激のおそれ。(スチレン、メタクリル酸).

STOT - 反復暴露: スチレンに晒された実験動物は、聴力低下や肝臓、腎臓および中枢神経系の障害を示しました。

吸引性呼吸器有害性: 粘度を根拠に、吸引毒物ではないとされています。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

その他の情報： 既知の影響なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

スチレン: 水生生物に対して毒性があります。[48h EC50(ミジンコによる半数影響濃度): 4.7 mg/l]; 長期的影響により水生生物に有害。(慢性NOEC、ダフニア・マグナ、21日: 1.01 mg/l). メタクリル酸: 72時間EC50（対藻） 45 mg/l. 1，4ーナフトキノン: 48h EC50(ミジンコによる半数影響濃度) 0.026 mg/l; 96時間LC50 (対魚 - Oryzias latipes) 0.045 mg/l; 72時間EC50 (藻 - Pseudokirchneriella) 0.42 mg/l.

12.2. 持続性・分解性

スチレン: 80%生分解性(OECD 301D, 20日)。; 易生分解性。メタクリル酸: 86%生分解性(OECD 301D, 28日)。易生分解性。スチレン、メタクリル酸: 空中で光化学反応により急激に酸化します。1，4ーナフトキノン: 39%, 5 日、容易に生分解しません。

12.3. 生物蓄積の可能性

スチレン: 生体内蓄積しません。(log Kow = 0.35). メタクリル酸: 生体内蓄積しません。(log Kow = 0.93). 1，4ーナフトキノン: log Kow = 1.77, 生体内蓄積の可能性低。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください（セクション9参照）。スチレン: 土壌内の移動性が低いとされています。(500 < Koc < 2000). メタクリル酸: 土壌内の移動性は極めて高いと考えられています。(Koc = 15).

12.5. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13： 廃棄上の注意

13.1. 廃棄処理方法

樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です。適切な設備で焼却することができます。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14： 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1866

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: RESIN SOLUTION

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 3

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

14.5. 環境への危険性

環境危険性なし

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

ADR: 分類コード F1, 輸送カテゴリ 3, トンネル制限コード (D/E)

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

セクション 15: 適用法令

15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）
　クラスI薬品： スチレン、メタクリル酸、コバルト及びその化合物
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）
　旧第二種監視化学物質： スチレン、メタクリル酸
労働安全衛生法（安衛法）
　名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物： スチレン、メタクリル酸
　特定化学物質等： スチレン
　作業環境評価基準で定める管理濃度： スチレン、20 ppm
　がん原性に係る指針対象物質： スチレン
毒物及び劇物取締法
　劇物: メタクリル酸
大気汚染防止法
　有害大気汚染物質： スチレン、メタクリル酸
水質汚濁防止法
　指定物質： スチレン

セクション 16: その他の情報

略語一覧：
ACGIH：米国産業衛生専門家会議
ADN：内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ADR：道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ATE：急性毒性推定値
BCF： 生物濃縮係数
cATpE： 変換後の急性毒性推定値
GHS：世界調和システム
ICAO：国際民間航空機関
IMDG：国際海上危険物規定
LC50：試験動物の50%を死亡させる致死濃度
LD50：試験動物の50%を死亡させる投与量
LOEL：最小作用量
NOEC：最大無作用濃度
NOEL：最大無作用量
N/A：該当せず
PEL：許容暴露限度
RID：鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
SDS：安全性データシート
STEL：短時間暴露許容濃度
STOT： 特定標的臓器毒性
TLV：暴露限界
その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典：
独立行政法人　製品評価技術基盤機構（通称　ナイト、NITE）
欧州化学物質庁（ECHA） – 化学物質に関する情報
米国国立医学図書館毒物学データネットワーク（TOXNET）
化学分類および情報データベース （CCID）

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
引火性液体 3, H226	テストデータに基づく
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法
STOT 単回暴露 3, H335	算出方法
生殖毒性 2, H361d	算出方法
STOT 反復暴露 1, H372	算出方法
急性水生毒性 2, H401	算出方法
水生慢性 3, H412	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H226: 引火性の液体および蒸気。
H227: 引火性液体。
H301: 飲み込むと有毒。
H302: 飲み込むと有害。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H311 : 皮膚に接触すると有毒。
H314 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318: 重篤な眼の損傷。
H319: 強い眼刺激。
H330: 吸入すると生命に危険。
H332: 吸入すると有害。
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
H361fd: 生殖能力に障害を与える疑いがあります。胎児に障害を与える疑いがあります。
H361d: 胎児への悪影響のおそれの疑い。
H372: 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。
H400: 水生生物に強い毒性。
H401: 水生生物に毒性。
H402: 水生生物に有害。
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H412 長期的影響により水生生物に有害。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: 原本。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。

© A.W. Chesterton Company, 2024 全権所有。 ® は、特に注記がない限り、米国およびその他の国で A.W.Chesterton Company が所有する登録商標です。